

2021 年度事業計画書

(2021 年 4 月 1 日~22 年 3 月 31 日)

【基本方針】

同盟育成会事業の二本柱の一つである学生寮事業では、昨年、新型コロナウイルスの蔓延で、一時、寮の閉鎖も余儀なくなれたが、徹底した感染予防対策を講じ、大過なく寮運営が進んでいる。もう一つの奨学金事業では、給付奨学生の募集枠を前年度から実態に合わせて見直し、学部生、大学院生各 20 人（前年度 25 人）、給付奨学生全員で 90 人規模を目標に設定する。

【収支見通し】

収支見通しは、収入面では電通株の配当金が前年度に大幅に減少。21 年度の配当は「未定」とされているが、現時点では低い水準が続くとみられる。このため、20 年度に購入した上場投資信託（ETF）を含めて、収益の改善を目指す。旧渋谷寮の駐車場への賃貸は安定的に推移している。支出面では、前年度に計上した 80 周年記念事業、退職職員の後任繰り上げ採用に伴う人件費増加などがなくなるため、抑制効果が期待できる。しかしながら、現段階では剰余金（黒字）を見込める状況にはなく、一層、効率的な経費支出に努めたい。

【管理部門】

資産運用＝予算計上した年間収入 2 億 1,345 万円を達成するため、金融資産については、株式を除いて、年間 2% 強の利息収入の確保を目標に運用する。ただし、財務体質の健全性の維持には引き続き留意する。

【組織運営】

子の看護休暇、介護休暇の時間単位取得が法制化された。これに伴い、4 月 1 日付で関係規則を改正する。前年度は、新型コロナ感染予防の観点から、職員の在宅勤務を導入したが、21 年度も感染状況を見極めながら、対応していく。

【学生寮事業】

- (1) 21 年度の新入寮生の見込み＝白山寮、市谷寮の定員はそれぞれ 54 人、62 人。欠員に退寮予定者を加えた 2021 年度の受け入れ可能数は、白山 18 人、市谷 22 人。
- (2) 22 年度の新規入寮者募集＝22 年度の入寮者募集は、21 年度と同様、エントリーシート方式により実施の予定。前年度に初めて取り入れたオンライン面接も併用する。事務所で面接を受ける者には、前年度と同様、上限を設けて交通費を支給する。

- (3) 教育補助事業＝毎年財団主催で開いていた新入寮生対面式（4月）、創立記念行事（10月）、成人式（1月）や、寮生が自主的に実施する予定の新人歓迎会（4月）、夏季キャンプ（8月）、クリスマスパーティー（12月）、卒寮生送別会（2月）などのイベントについては、新型コロナの感染状況をみながら、慎重に行うものとする。TOEIC 受験（秋）等に補助金を支出する。
- (4) 保健・衛生＝21年度も引き続き新型コロナ対策を進めるほか、財団の負担で、寮生希望者にインフルエンザの予防接種を受けさせるなど、寮生の健康維持に努める。

【奨学金事業】

- (1) 新規採用目標＝大学院生を対象とした給付奨学金は、給付希望者の実態と合わせるため、新規採用者数を見直し、20人（前年度25人）を目指す。達成できれば、奨学生は合計で20年度の38人から39人となる。給付額の月額6万円を維持する。
また、学部生を対象とした給付奨学金も、同様に新規20人の採用を目指す（前年度25人）。目標が達成できれば、20年度の43人から45人となる。給付額の月額4万円は維持する。
- (2) 給付奨学生研修会＝大学院生と学部生の研修会は年2回、秋（9月）と春（2月）に実施する。秋はオンライン形式とする。

【収益事業】

唯一の収益事業である旧渋谷寮跡地の日本パーキング株式会社への賃貸は安定的に推移しており、継続する。